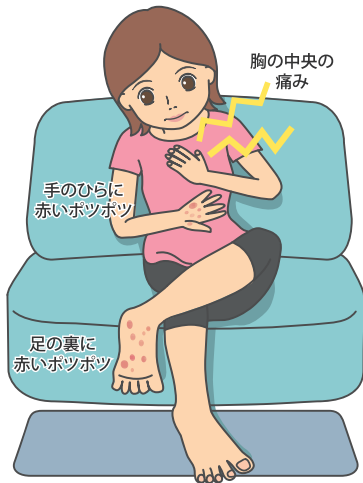


膿がたまった水疱が手のひらや足の裏に出て治らない
「掌蹠膿疱症」の疑いがあります
立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

掌蹠膿疱症の症状



手のひらや足の裏に無数の小さな水疱ができ、次第に膿をもつようになる。この症状について立川皮膚科クリニックの伊東秀記先生に聞きました。

「掌蹠膿疱症（しょうせきのうほうしょう）」の疑いがあります。患部にできた、たくさん小さな水疱が、次第に黄色く膿を持ちます。その後、かさぶたになって皮膚の角層がはがれていきます

「金属アレルギーや、慢性扁桃腺炎などがある」と発症することがあり、難治性の皮膚疾患である科の医師に相談を

「膿疱性乾癬」の一種では「治療法は？」

「ステロイド軟膏やピタミンD3軟膏を処方し、皮膚の細胞増殖や炎症を抑制する作用も紫外線療法も併用します。この疾患は長期にわたり症状を繰り返します。薬の効果を診ながら、症状を抑えていくことを目指します。詳細は皮膚科の医師に相談を」

「原因は？」

「胸の鎖骨部の胸鎖肋関節に強い腫れや痛みを生じ、日常生活に支障をきたします」

「現れ、慢性化するのが特徴です。」

また、合併症として掌蹠膿疱症性骨関節炎を発症することも。胸の鎖骨部の胸鎖肋関節に強い腫れや痛みを生じ、日常生活に支障をきたします

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業、東京慈恵会医科大学皮膚科非常勤講師

問い合わせ
☎042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~ 13:30	○	○	○	○	12:30まで 受け付け	○
15:00~ 19:30	○	○	○	○	18:30まで 受け付け	17:30まで 受け付け

2017年10月14日付 「リビング多摩」に掲載されました